

宇高航路経費 年間3000万円

2019年に運航を休止するまで玉野市と高松市を結んでいた宇高航路の再開に向け、玉野商工会議所は、50人乗りの旅客船を定期運航した場合の費用を試算した。1日4往復で年間3000万円余りの経費がかかる計算で、同会議所は、はじき出した数字を議論のたたき台にして、再開の可能性を探る方針。(民直弘)

玉野商工会議所試算



電子版なら他の地域版も読める
山陽新聞デジタル
<https://www.sanyonews.jp>

1日4往復 再開可能性探る

試算は市内の海運業者に降は毎年3162万円必だと言賃収入は2160万円に落ち込むが、行政から依頼し、朝、夕それぞれ2往復した場合の費用を出した。船長、船員計4人の人で、J-Rの宇野―高松間に運賃は片道1500円、初年度は約1282万円の補助金がある。燃料費が1152万円、初年50円安く設定。1便平均料費が1920万円、燃間の運賃1550円より合つとする。試算した業者は「宇高航路の休止で玉野―高松間の交通手段は鉄道に移行しており、航路が再開されたところどころでどれくらいの人が乗るのか未知数。高松からどれくらい玉野を目的地として乗ってくる客がいるかも課題だ」と指摘する。

玉野商工会議所によると、今回の試算で想定した船で玉野―高松間を移動すると所要時間は45分程度。

▲ 玉野港に人だかりができ
た宇高航路の運航最終日
＝2019年12月15日

おおむね1時間半前後かかるJRより短く、乗り換えもない利点がある。同会議所の山根一人会頭は「可能であれば社会実験を3年間実施して、航路の採算性をはじめ、どのようなニーズがあるかアンケートをして調べたい」と話す。